

物の見方 「歴史」と「地理」

常務取締役 総務管理室担当 西川 信一



当社は1972年(昭和47年)7月に創立以来、本年7月をもって35周年を迎えました。

お客様満足を創造しよう、との社是を高く掲げ、諸先輩は今日まで皆々と努めてこられました。今日ここまで来られましたことにはまずはおお客様の皆様にお礼を申し上げます。ステークホルダー(利害関係者)と言われる色々な立場の方々のご支援をいただき、日本で分析会社のリーディングカンパニーに育ってきたことをうれしく思います。今後とも「力強く持続的に発展し続ける会社」でありたい。

当社は「分析サービス業」ですが、我々の大先輩から「すべては分析に始まる」という理念を与えていただき、もの作りの製造業とは一味違ったプライドを持って「分析」を通じて社会貢献に邁進してまいりました。今日、人間社会の安全・安心のために「分析業」は大きく貢献しています。ところで、私は分析の技術者ではありませんが、「35年」という節目の時に当たり一言申し上げたい。「物の見方」には、「歴史」と言う縦軸と、同時代の水平的な広がり「地理」と言う横軸の二つがあるように思います。人それぞれの

人生観・社会的経験・読書経験などから、歴史に重きを置く人と、現在のグローバルな地理的な状況に重きを置く人とが居られます。

さてそこで、SCASの35年のあゆみについて縦軸の歴史を考えて見ますと、分析業の変遷・お客様の業界の変遷・環境分析の推移・親会社と一般のお客様とのお取引の変遷・分析機器、分析要員の変化など挙げるときりがありません。歴史は決して同じことを繰り返さないが、同じようなことをなんども繰り返しているのが真実だと思えます。一方、横軸の「地理・水平的な広がり」を考えて見ますと、当社は国内では10個所に拠点を構え、海外でもシンガポール、住友化学株式会社のサウジアラビアにおけるラービグ石油化学計画への支援業務、そして本年6月に設立した中国上海の3個所でおの事業に携わっています。地球が一つの方向に収斂していくと言う考え方と、地球の各地域は区々様々で、今後ともまとまるはずはないという考えがあります。分析業界はISO、GLP、GMP、RoHS、REACHなどグローバルな流れが強いように思います。

もう少し一般的に申し上げても、「歴史」に関わる書籍では、アーノルド・トインビーの「歴史の研究」から始まり(古代ギリシャ、ロー

マもの山ほどありますが)、司馬遼太郎の一連の歴史物の大作や先頃書き終えた塩野七生さんの長編「ローマ人の物語」など名著が多数あります。それぞれの歴史物語に引き込まれ、自分があたかもその時代、その場所に立っているような思いになります。興味深く、そして得ることが多くあります。

また、もう一方の「地理的な見方」であります。世界を東洋と西洋の二つに分ける二元論からインドを中心とする「中洋」と言う考えを示された梅棹忠夫さんの「文明の生態史観(序説)」は今でも新鮮さを失わない名著でありますし、早くして亡くなられた高坂正堯さんの「海洋国家日本の構想」「文明が衰亡するとき」なども日本と言う国を地政学的に論じた好著であります。

要は「物の見方」を、歴史という縦軸と地理・同時代の水平的な広がりという横軸をバランスよくマトリックス的に位置づけ、一面的・絶対的・単眼的・自己中心的な見方ではなく、多面的・相対的・複眼的・鳥瞰し、他を思いやる見方が大事ではないか、自分がそうありたいと思い、記しました。

当社の35年のあゆみを思うことから始めた「物の見方 歴史と地理」についての一文であります。

編 集 後 記

SCAS NEWS 2007- 号をお届けいたします。今回は、当社創立35年にあたり、本号を記念号として企画、発行いたしました。巻頭言には、東京大学大学院 新領域創成科学研究科 研究科長 物質系専攻の雨宮 慶幸教授に「競争原理の役割とその限界」と題して、多々示唆に富む提言を賜りました。フロンティアレポートには、環境関連、電子関連、医薬関

連、工業支援関連における当社の最新技術等の紹介を従来の2報から5報に増やすなど、お客様方のお役に立つものと企画いたしました。そのため従来のTALK ABOUT、SCAS NOW、法律ウォッチャーを割愛しました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。 M.S

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2007. 8. 28 2007- (通巻26号)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: webmaster@scas.co.jp



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO 17025に基づく認定事業所で、環境分野や化学、電子工業製品分野などにおける特定項目の認定を受けております。
千葉事業所の認定番号: JCLA1
愛媛事業所の認定番号: JCLA5

当社各事業所はISO-9001およびISO14001の審査登録を受けています。

千葉・筑波事業所 環境技術センター : JQA-1105 / KHK-01ER-171
大阪・岡山事業所 : JQA-1814
愛媛事業所 : JCQA-0253 / JCQA-E-0465
大分事業所 : JQA-QM3707 / JQA-EM2093
ファーマ事業所 : 医薬品GLP
大阪事業所 : 農業GLP

はインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical
Analysis Service

東京営業所(本館)	TEL 03-3257-7201	愛媛営業部・愛媛事業所	TEL 0897-32-3411
東京営業所(別館)	TEL 03-5259-5961	大分営業部・大分事業所	TEL 097-523-1181
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	筑波事業所	TEL 029-864-4741
医薬事業本部 営業部(東京)	TEL 03-5259-5964	医薬事業本部 ファーマ事業所	TEL 06-6466-5246
医薬事業本部 営業部(大阪)	TEL 06-6202-1801	環境技術センター	TEL 0438-63-6176
千葉営業部・千葉事業所	TEL 0438-64-2281	医薬事業本部 バイオ技術センター	TEL 06-6466-5251
岡山営業部・岡山事業所	TEL 086-477-8103	SCAS SINGAPORE PTE LTD.	TEL 65-6899-3819

本誌は再生紙を使用しています